

平成30年8月23日

農業技術センター技術普及部

標題 | 優良系統デラウェアにおけるジベレリン1回処理果房の品質特性説明会を開催

(ダイジェスト)

平成30年2月14日付けで、ジベレリンの農薬登録が拡大されました。これによって、優良系統デラウェアにおけるジベレリン1回処理が可能になりました。これまで、ジベレリン1回処理果房の試食は、農薬登録の関係で実施できなかったことから、本年は試食をメインとした品質特性説明会を開催しました。その結果、通常デラと同様な果粒の大きさ、食味になることが周知できました。

本県ぶどうの主力であるデラウェアは、生産者の高齢化による栽培面積の減少、樹の老木化による生産性の低下が問題になっています。そこで、果粒肥大の良い優良系統デラウェアを用いた、ジベレリン1回処理（以下GA1回処理）による省力化栽培が可能になったことから、この系統への改植が推進されています。

品質特性説明会は、以前から開催していましたが、GA1回処理が農薬登録されていなかったため、試食してもらうことはできませんでした。平成30年2月24日付けで、GA1回処理の登録が拡大されたため、本年はGA1回処理果房の外観や食味を評価してもらう目的で品質特性説明会を開催しました。

県内のぶどう産地（出雲、大田、益田）で開催したところ、計180名のぶどう生産者が参加されました。品質特性説明会では、GA1回処理果房の試食を行い、果実品質についての評価やGA1回処理への関心を調査するために、アンケートを実施し、GA1回処理の方法についても情報提供しました。

アンケートを集計した結果、果粒の大きさについては、大きい～適度と回答した割合が96%で、通常デラと同様な果粒の大きさになることが周知できました。また、GA1回処理についての関心は高く、優良系統デラウェアを栽培している方は、実施したいと思われる方が多いことがわかりました。

平成31年産からGA1回処理の本格実施になるため、今後はGA1回処理の普及に向けて、マニュアルの作成や研修会を実施し、処理技術の周知を図っていきます。



写真 品質特性説明会の様子

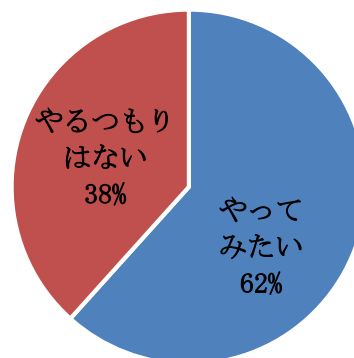


図 GA1回処理への関心調査